

環境アセスメント検定
自然環境編②
(正解・解説)

2017年 8月ver. 1.00

発行 環境アセスメント学会
<http://www.jsia.net>

環境アセスメント学会

【正解】自然環境編②

問題	正解	解説・出典
問1	○	
問2	○	
問3	×	都道府県または市町村が管轄している。
問4	○	
問5	○	
問6	×	国土地理院が管轄している。
問7	○	
問8	○	
問9	○	
問10	×	植生タイプごとの面積や保全上の重要度などを参考に決定する。

問題	正解	解説・出典
問11	○	出典：平成19年環境アセスメント実務研修テキスト 自然環境 (II)
問12	×	出展：(環境アセスメント士、2007年度)環境アセスメント技術ガイド 生態系(生物の多様性分野の環境影響評価技術検討編2002) 自然環境研究センター
問13	○	出展：(環境アセスメント士、2007年度)環境アセスメント技術ガイド 生態系(生物の多様性分野の環境影響評価技術検討編2002) 自然環境研究センター
問14	×	「植物地理区」でなく「動物地理区」
問15	○	出典：EICネット
問16	×	農耕地や人工林などのほか、刈り取り、伐採などによって成立した里山や草原などは含まれる。 出典：出典：EICネット
問17	×	コドラートでは不十分、広域かつ頻度を上げた調査が必要である。
問18	○	
問19	○	
問20	×	出展：平成19年環境アセスメント実務研修テキスト・自然環境、7 (P46～P50、P22, P27)

【正解】自然環境編②

問題	正解	解説・出典
問21	○	
問22	○	出典：環境アセスメント技術ガイド 生態系 P.32
問23	○	
問24	×	すでに水産庁や各地方公共団体で作成されている。
問25	×	種の保存法のまえの1991年「日本の絶滅のおそれのある野生生物」としてまとめられたものである。
問26	○	引用：EIC ネット
問27	○	出典：EICネット用語辞典
問28	○	出典：環境白書 平成27年
問29	○	本来はすべての生物種 出典：出典：EICネット
問30	×	外来生物のアレチウリは「管理放棄された二次林に侵入して繁茂し」ではなく「河川敷、ほとんど冠水しない場所に生育する」。 出典：（環境アセスメント士、2007年度）植生管理学（福嶋司編，2005）環境省・外来生物法ホームページ

問題	正解	解説・出典
問31	○	出典：（環境アセスメント士、2007年度）植生管理学（福嶋司編，2005）環境省・外来生物法ホームページ
問32	○	出典：（環境アセスメント士、2007年度）植生管理学（福嶋司編，2005）環境省・外来生物法ホームページ
問33	○	出典：（環境アセスメント士、2007年度）植生管理学（福嶋司編，2005）環境省・外来生物法ホームページ
問34	○	出典：（環境アセスメント士、2007年度）植生管理学（福嶋司編，2005）環境省・外来生物法ホームページ
問35	○	出典：国交省ホームページ、技術ガイド「景観」p.17、p.18、国交省ホームページ
問36	○	出典：環境アセスメント実務テキスト、生活環境、平成19年
問37	○	出典 EICネット
問38	○	
問39	○	

【正解】自然環境編②

問題	正解	解説・出典
問40	×	<p>地質と半ば重複する概念であり、狭義には、自然地盤の「未固結地盤（土砂・土質地盤）」のみを指す場合もあるが、本来は、「固結地盤（岩盤）」や「人工地盤（埋立地など）」として、公害の観点から取り扱われる事例が多い。</p> <p>出典：出典：環境アセスメント実務テキスト、生活環境、平成19年</p>
問41	○	
問42	○	
問43	×	<p>固有性は分布が限定される地形・地質とされている。規模や特徴が傑出している地形・地質は傑出性とされている。</p>
問44	○	
問45	○	<p>出展：平成19年環境アセスメント実務研修会テキスト 生活環境</p>
問46	○	
問47	○	
問48	○	
問49	×	<p>地滑り地形は該当しない。</p>
問50	○	